

## ご 注 意

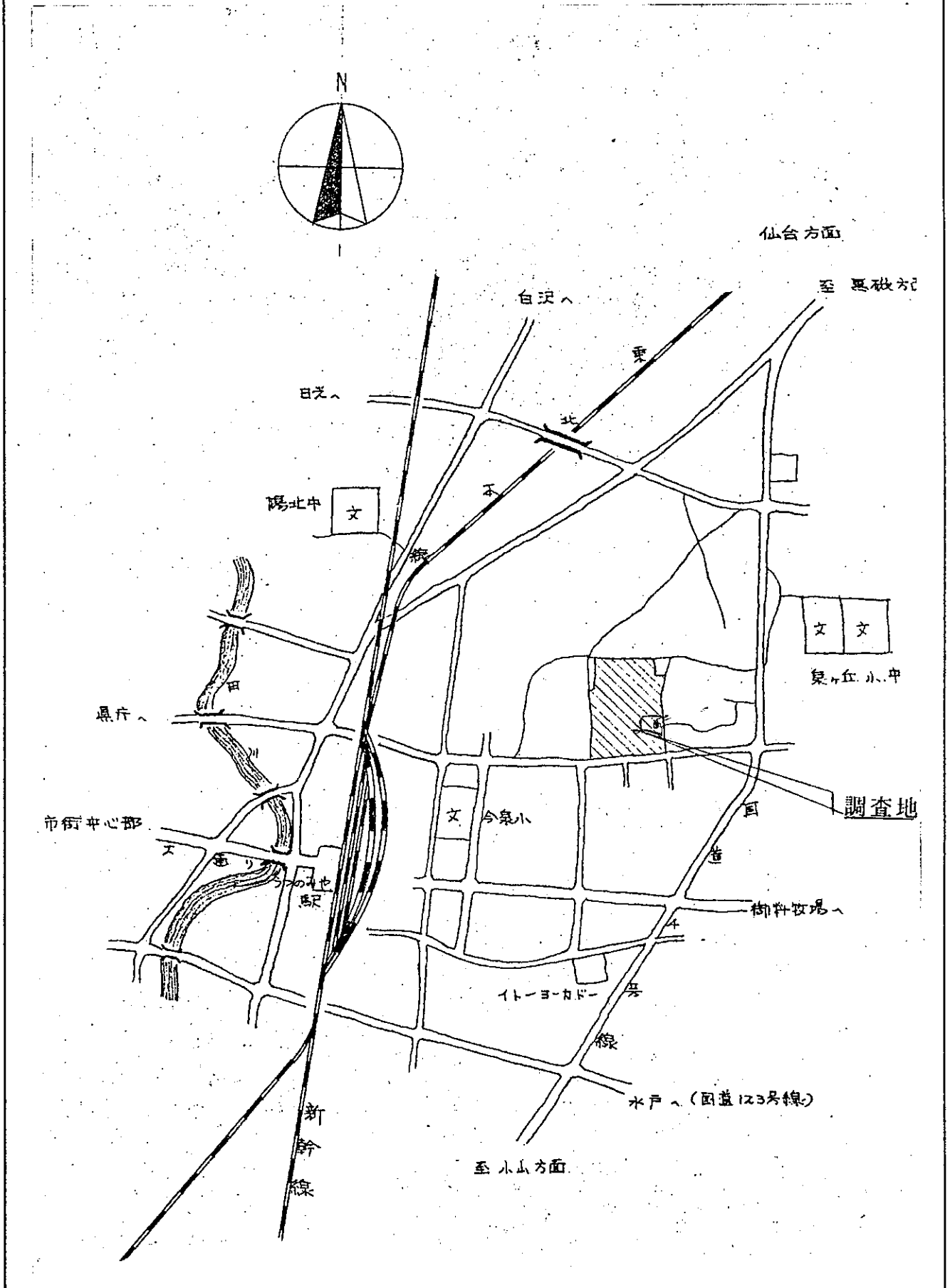
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

# 案内図



備考

第 1 図 土質柱状図

宇都宮農業高校情報技術科棟新築工事  
 地質調査

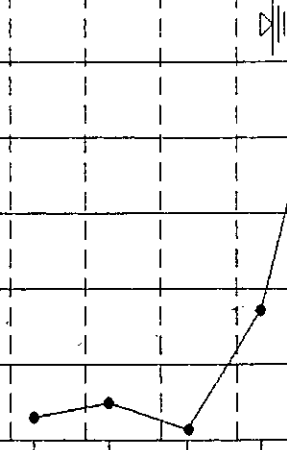
ボーリング方法 ローター式

調査位置 宇都宮市今泉

地点番号 No. NO.1 標高 KBM-0.670 m 調査年月日 年 月 日

孔内水位 GL-4.50 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験		
									深度 (m)	N 値 回数	10cm 毎の打撃回数
1	-1.27	0.60	0.60	△		盛土		0.20m までアスファルト ト以深碎石			
2				〰		シルト	黒褐色	旧美土でクロボク 植物根混入する	1.15	3	1
3	-3.27	2.60	1.80	〰		ローム	暗褐色	腐植物混入 2.00m 付近から鹿沼軽 石粒混る	1.45	30	10
4	-4.47	3.80	1.20	△		軽石	黄褐色	含水多い 鹿沼軽石層	2.15	5	2
5	-4.97	4.30	0.50	〰		ローム質粘土	暗茶色	粘土質で軟い 4.60m から灰褐、5.50 m から暗黄灰色 φ10~20mm 位の礫多 い	2.45	30	10
6				○				所々粗砂挟む 最大80~90mm 位の礫 点在する	3.15	2	1
7				○				9.00m 付近から粘土全 体的に混入する	3.55	40	20
8				○				10.00m 付近柴灰色混 る	4.15	20	0
9				○					4.50	35	15
10	-11.01	10.34	6.04	○		砂 礫	褐灰~灰 褐~暗黄 灰		5.15	50	35
11				○					5.28	13	10



第 2 図 土質柱状図

宇都宮農業高校情報技術科棟新築工事  
 地質調査

ボーリング方法

ロータリー

式

備考

調査位置 宇都宮市今泉

地点番号 No. NO.2 標高 KBM-0.90 m 調査年月日 年 月 日

孔内水位 GL-4.80 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験		
									深度 (m)	N 値 回数	10cm 毎の打撃回数
1	-1.30 -1.60	0.40 0.70	0.40 0.30	盛土 シルト		盛土 シルト	黒褐色	アスファルト、碎石 旧表土でクロボク、植 物根混る	1.15	3	1
2						ローム	暗茶色	腐植物混入する	1.45	30	10
3						軽石 ローム質粘土	黄褐色 暗茶色	鹿沼軽石, 含水多い 腐植物混入する 軟い	2.15	3	1
4						礫 混じり粗砂	灰褐色	φ10~20mm位の礫混 入する	2.45	30	10
5								5.20mから灰褐色、6. 50mから暗黄褐色 φ10~20mm位の礫多 く所々φ70~80mm位 の礫点在する 7.50~8.35m漏水あり 8.35~8.70m粗砂挟む	3.15	1	1
6									3.65	50	50
7									4.15	13	1
8									4.45	30	10
9									5.15	45	10
10									5.45	30	10
									6.15	50	31
									6.31	16	10
									7.15	40	10
									7.45	30	10
									8.15	31	13
									8.45	30	10
									9.15	46	14
									9.45	30	10

柱状 - B A S E

第 3 図 土質柱状図

宇都宮農業高校情報技術科棟新築工事  
 事 地 質 調 査

ボーリング方法 ローター式

調 査 位 置 宇都宮市今泉

地 点 番 号 No. NO.3 標 高 KBM-0.73 m 調 査 年 月 日 ~ 年 月 日

孔内水位 GL-4.70 m 担 当 者 名

備考

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土 質 記 号	試 料 採 取	土 質 名	色 調	記 事	標 準 貫 入 試 験				
									深 度 (m)	N 値 回	10cm毎の 打 撃 回 数		
1	-1.03	0.30	0.30	盛土		盛土	黒褐色	砕石の混入	1.15	4	1	2	1
2	-1.33	0.60	0.30	シルト		シルト	黒褐色	日表土の黒ホクで植物の根混入する腐植物混入する	1.45	30	10	10	10
3	-3.33	2.60	2.00	ローム		ローム	暗茶色	2.00m付近から鹿沼軽石粒混入する	2.15	2	1	1	
4	-4.38	3.65	1.05	軽石		軽石	黄褐色	鹿沼軽石で含水量多い腐植物混入する	2.45	30	15	15	
5	-4.88	4.15	0.50	ローム質粘土		ローム質粘土	暗茶色	腐植物混入する	3.15	2	1	1	
6								鹿沼軽石で含水量多い腐植物混入する	3.55	40	20	20	25
7								軟い	4.15	44	4	15	25
8								6.60mから暗黄灰色の礫多	4.45	30	10	10	10
9	-10.10	9.37	5.22	砂 礫		砂 礫	灰褐色~暗黄灰色	い 所々φ70~80mm位の礫点 在 する 所々粗砂挟む 9.00m付近少量の漏水 あり	5.15	50	17	19	14
10									5.43	28	10	10	8
									6.15	50	15	25	10
									6.39	24	10	10	4
									7.15	50	13	20	17
									7.42	27	10	10	7
									8.15	50	20	17	13
									8.42	27	10	10	7
									9.15	50	28	18	4
									9.37	22	10	10	2

